

広島市植物公園指定管理者の業務実施状況（平成28年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市植物公園（広島市佐伯区倉重三丁目）
(2) 指定管理者等 （非公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市みどり生きもの協会 （広島市中区基町4番41号） (2) 指定期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日 (3) 指定管理料の限度額（4年間分） 15億164万4千円

2 実地調査の実施状況

区分	内容
実施年月日	平成29年3月22日（水）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成28年度の状況		市の評価	
(1) 管理業務の実施状況			
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況		○	
(ア) 植物公園の管理運営にあたっては、多くの市民に安全で快適なレクリエーションの場を提供するため、広島市公園条例及び同条例施行規則その他関係規定を遵守するとともに、当施設が市民の貴重な財産であることを念頭において、入園者の平等な利用及び公平なサービスの提供に努めている。 (イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。			
イ 事業の実施状況	—	—	
ウ 維持管理業務等の実施状況		○	
次の業務を実施している。 (ア) 植物公園の利用の禁止及び制限に関すること。 (イ) 植物公園の維持管理に関すること。 (ウ) その他市長が定める業務			
(2) 指定管理料等の収支状況		○	
ア 平成28年度の状況			
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)
収入 (a)	4億347万9千円	4億2,652万6千円	2,304万7千円
指定管理料	3億2,152万4千円	3億2,152万4千円	0千円
利用料金	5,922万9千円	5,042万8千円	△880万1千円
その他	2,272万6千円	5,457万4千円	3,184万8千円
	繰入金(0千円)	繰入金(2,364万9千円)	繰入金(2,364万9千円)
	雑入(0千円)	雑入(1万9千円)	雑入(1万9千円)
	前年度繰越金(2,272万6千円)	前年度繰越金(3,090万6千円)	前年度繰越金(818万円)
支出 (b)	4億347万9千円	4億1,472万5千円	1,124万6千円
差引(a) - (b)	0千円	1,180万1千円	1,180万1千円
	次年度繰越金(0千円)	次年度繰越金(1,180万1千円)	次年度繰越金(1,180万1千円)
イ 特記事項			
指定管理料と利用料金の合計のみでは賅えない支出については、前年度繰越金等により対応しており、運営に支障は生じていない。			

平成28年度の状況		市の評価
(3) その他		
ア	利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 主要事業においてアンケートを実施することにより、利用者ニーズを踏まえた事業・管理運営ができるように努めている。	○
イ	個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程を作成し、職員へ周知徹底することにより適切に対応している。	○
ウ	情報公開の実施状況 情報公開規程を作成し、職員へ周知徹底することにより適切に対応している。	○
エ	緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 危機管理マニュアルを作成し、職員へ周知徹底することにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。	○
オ	苦情・要望への対応状況 苦情・要望対応マニュアルを作成し、職員へ周知徹底することにより適切に対応している。	○
カ	配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 管理事務所 29名 (イ) 職員研修の実施状況 a 職場研修会の実施 4月 職務分担の確認及び執行体制について研修を実施 さくらまつり（夜間開園含む）の開催にあたり、人員体制、指揮命令系統等の確認及び研修を実施 b みどり生きもの協会の全体研修（人権、職員倫理、接遇）への参加 (ロ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について適正に実施しており、また、最低賃金額を遵守している。	○
キ	自己評価の実施状況 アンケート調査を実施し、結果を踏まえて自己評価を行っている。	○
業務の実施状況の評価		A

4 施設の利用状況

平成28年度の状況					市の評価	特記事項
ア 利用者数等					C	<p>各種イベントを実施し、またホームページ等により広報活動も積極的に行ったが、イベント開催時に雨天の日が多かったことなどにより、数値目標を達成できなかった。</p> <p>今後も、引き続きパンフレット・チラシの作成配布、新聞広告及びラジオ等による宣伝広報、入園料の割引を実施するとともに、利用促進を図るために新たなイベントの実施等を検討していくよう指導した。</p>
区 分	目標利用者数 (ア)	利用者数実績 (イ)	差 引 (イ) - (ア)	達成率 (イ) / (ア)		
入園者	210,000 人	186,992 人	23,008 人	89.0%		
※前年度実績 211,247 人 (増減率△11.5%)						
イ 利用促進策等の実施状況						
(ア) 開園日の拡大等						
a 開園日の拡大						
ゴールデンウィーク及び秋のグリーンフェア期間中等の休園日の臨時開園						
b 夜間開園の実施						
c 記念行事						
みどりの日・植物園の日記念行事等の実施						
(イ) 広報活動の充実						
a 広報誌やマスコミ等の活用						
b ホームページの活用						
c 出版物の発行						
(ウ) 自主事業の実施						
ウチョウラン展、フラワーデザイン実演会など						
(エ) 安佐動物公園及び森林公園(昆虫館)との3園共通年間パスポートの発行						

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市と指定管理者が共同で実施したアンケート調査結果(標本数217件)では、サービス内容などの満足度については、満足が83.1%、不満が0.6%であった。	A	

6 評価

区 分	市の評価	特記事項
評価(5段階評価)	3	HP等による広報活動やイベント等の自主事業により利用促進を図ったものの、天候不順が多かったことなどにより、目標利用者数を達成することができなかった。 今後は、天候不順による影響を緩和するため、閑散期の利用者数の増加に取り組むとともに、引き続き適切な管理運営を行うよう指示した。
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	C	
利用者の満足度	A	